

自主防災活動について

広陵町馬見南5丁目自主防災会

平成29年9月

自主防災会の概要

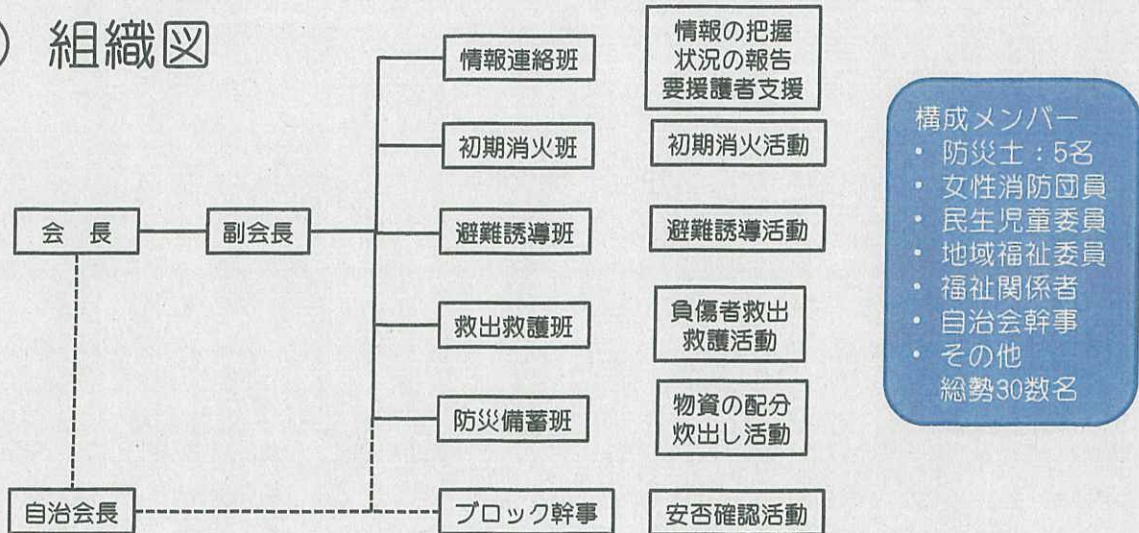
馬見南5丁目自主防災会（広陵町）

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	238世帯（平成29年4月末日現在）
◇人口	602人（平成29年4月末日現在）
◇内65歳以上人口（高齢化率）	210人（34.9%）
地域の特徴	
◇まちの特徴	昭和50年代にベッドタウンとして開発された真美ヶ丘ニュータウンの南地区に位置し、その中で最初に入居が始まった地域である。入居当初は若い世代が主で他府県から転居してきた世帯も多く、住民間のつながりが希薄であった。30数年を経て徐々に絆が深まってきたものの他地区に比べて少子高齢化が急速に進み、防災の担い手は高齢者が主体となっている。
◇過去の災害、想定される災害	宅地開発後に大災害の記録はありません。今後、発生が考えられる大災害は南海トラフや奈良東縁断層帯などによる大地震で、広陵町は震度6強が想定されている。

設立年月日	平成23年4月4日
設立のきっかけ	今後予想される大規模災害に備えるため、地域住民が結束して災害に対処することが必要となる。平成22年度に自治会役員から強い提案がなされた事もあって、自主防災会を結成して住民の被害の防止及び軽減を図る事を決意した。
目的・キャッチフレーズ	『自分たちの街を自分たちのできる範囲内で守りたい』との思いを持って活動する。
予算規模	自治会からの補助7万円。備蓄品は自治会予算（20万円程度）にて購入（町から半額補助有り）
主な活動内容	
◇防災活動	防災会定例会議（月1回）、住民台帳の整備・更新、防災意識アンケート調査、防災ニュース（防災だより）の発行、防災施設見学会の開催、地域情報・アンケート結果の周知、防災活動マニュアルの作成、防災マップの作成、要支援者リストの作成、個人情報管理、シェイクアウト訓練、通報・初期消火訓練、安否確認訓練（全住戸及び要支援者）、避難誘導訓練、炊き出し訓練、テント設営訓練、救急救命訓練（AED講習）、総合防災訓練、地域防災訓練、防災備蓄品の整備・管理・点検、防災設備（消火栓、防火水槽等）の点検、啓発活動等。
◇防災と一体的に取り組んでいる活動（防犯・美化・福祉など）	他団体（自治会、老人会、子ども会、地域サロン等）との協働：年末夜回りの実施（防犯、防火）、夏祭りへの協力（テント設営、防災ゲーム、防災グッズ展示）、町民体育祭への協力（防災種目への参加）、チャレンジデーへの参加（防災設備巡回点検ツアーの実施）
◇その他特徴的な活動	地域イベントには何らかの形で参加し、常に住民間の親睦を図れるような活動を心がけている。
主な連携先（行政・学校・企業・近隣の団体など）	広陵町役場、広陵消防署、広陵町消防団（女性消防団）、真美ヶ丘第一小学校、真美ヶ丘中学校、広陵町防災士ネットワーク、真美ヶ丘第一小学校区自主防災連合会

自主防災会の紹介

(1) 組織図



(2) 位置付け

継続性を重視し、自治会とは別組織とするが、緊密に連携して活動する組織とした

(3) 班別活動

活動内容に応じて5つの班を設置し、お互いに協力しながら担当の活動を行う

活動の概要

3つの活動キーワード

(1) 情報

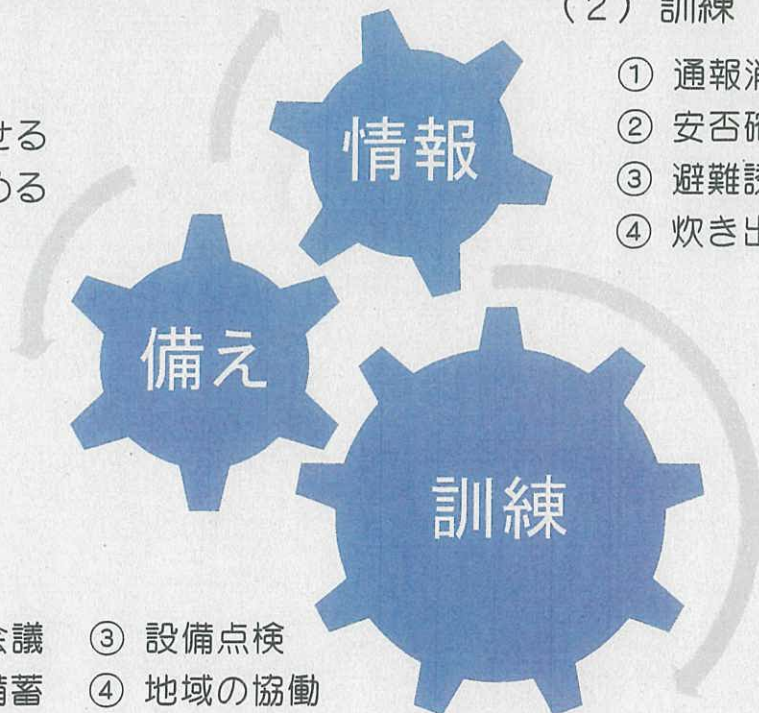
- ① 知る
- ② 知らせる
- ③ まとめる

(2) 訓練

- ① 通報消火
- ② 安否確認
- ③ 避難誘導
- ④ 炊き出し
- ⑤ 防災設営
- ⑥ 救急救命
- ⑦ 総合防災
- ⑧ 地域防災

(3) 備え

- ① 防災会議
- ② 防災備蓄
- ③ 設備点検
- ④ 地域の協働



活動基本方針
3つの歯車を、うまくかみあわせ、防災・減災を目指す

活動の詳細

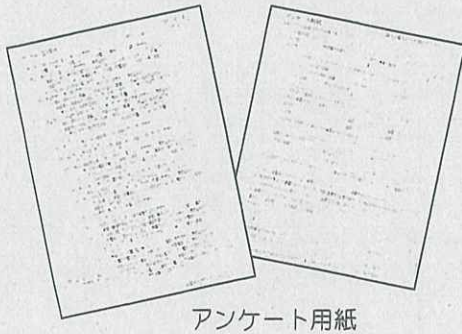
(1) 情報

① 知る

- ・安否確認用住民台帳の整備
毎年更新、回収率95%
記入項目：
家族構成（年齢層別人数）
支援の要否、協力の可否等

個人情報の保護：民生児童委員が情報を一元管理する事で回収率を上げている

- ・防災意識アンケートの実施
3回実施、集計結果全戸配布



アンケート用紙

馬見南5丁目自主防災会		安否確認用台帳		平成28年10月1日現在	
世帯主の氏名	住所	ブロック	提出日		
	馬見南5丁目1-	-	平成28年__月__日		
世帯の人数（常に居住しておられる方）					
男性			女性		
計__人			計__人		
6歳未満	6~15歳	16~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
__人	__人	__人	__人	__人	__人
ご家族の内、遊戯時に全滅を必要とする方が、いらっしゃる場合はお書き下さい					
男性__人（__歳）			女性__人（__歳）		
【理由（任意記入）】：_____【別紙、病状、薬品利用等】					
その他、防災会に知らせておきたい事がありましたら、ご自由に御書き下さい					
別紙等に記入していただける方は、以下にご記入下さい					
・前主 防災委員 副防災委員 防災（消防職等） 防災関係者 福祉関係者 消防関係者 その他：_____					
私財消火設備の有無を記載しましたか？（設備に○を記入） ・設備に不備 ・設備がない ・設備がない・修理がない・壊れている					
※お書き頂いた情報は緊急に参照し、専ら防災活動のために使用いたします。【各種竹筒等/民生児童委員/母体組織/近隣自治会等】					
※住所区分は、国の統計区分を参考にしています。					

- ・他地区の見学

指定避難所
(小学校体育館)



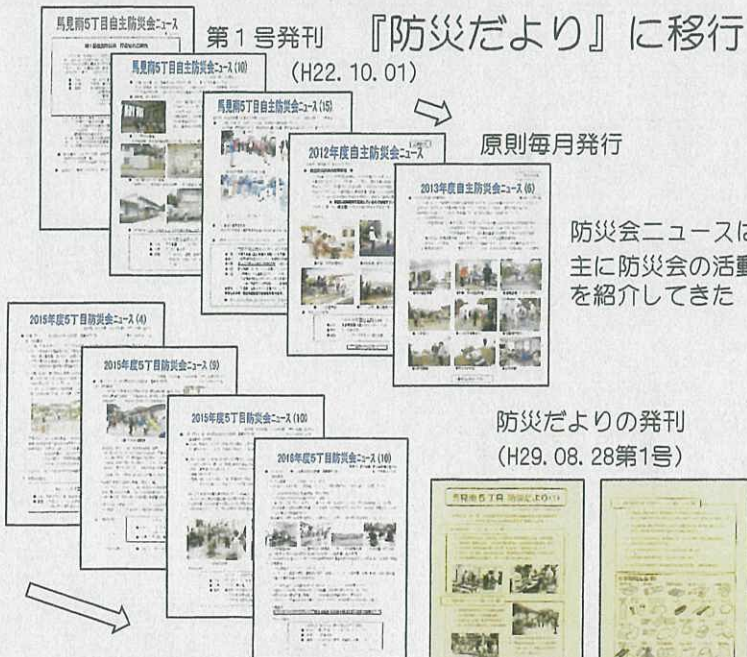
近隣自治会
(防災倉庫)

活動の詳細

(1) 情報

② 知らせる(1)

- ・防災会ニュースの発行 →



防災会ニュースは主に防災会の活動を紹介してきた



防災だよりは防災情報を提供

- ・見学会の実施

大阪市阿倍野防災センターの防災体験を企画実施した

消火器の使用体験

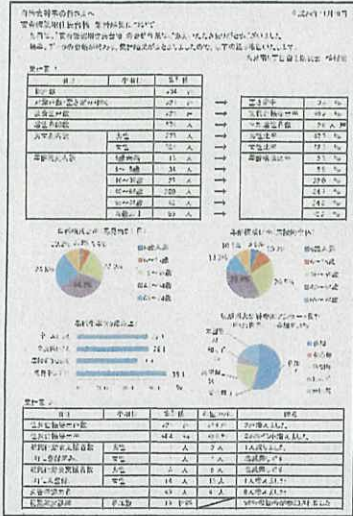


震度7の揺れ体験

② 知らせる(2)

・地域情報の提供

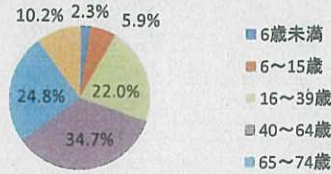
[住民台帳の集計結果]
地域における年齢層別人口や
高齢化率の情報を分かり易く
提供している(毎年更新時に提供)



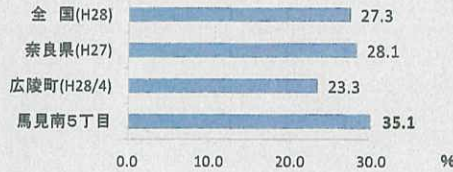
集計結果

地域の現状

年齢構成比率(馬見南5丁目)

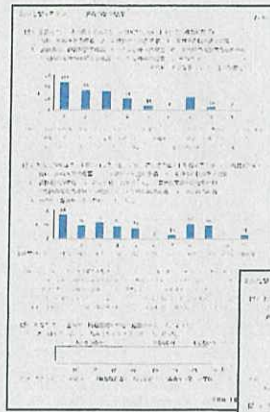


高齢化率(65歳以上)

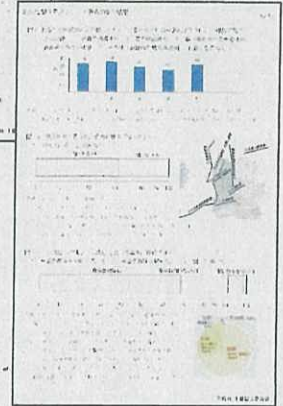


[アンケートの集計結果]

防災意識や普段の備えなどの結果と共に、
防災まめ知識なども掲載して提供している



アンケート集計



③ まとめる(1)

・防災活動マニュアルの作成



平成24年9月第1版作成(現在120部を配布)

平常時の活動と災害時の行動を
分かり易く解説したマニュアル
を作成し、防災会員及び自治会
幹事に配布している

規約、防災計画、平常時活動マニュアル、
災害時行動マニュアル、行政からの情報
(地域防災計画の一部)、防災知識の紹介
他で構成されている

[A4、カラー、50ページ]

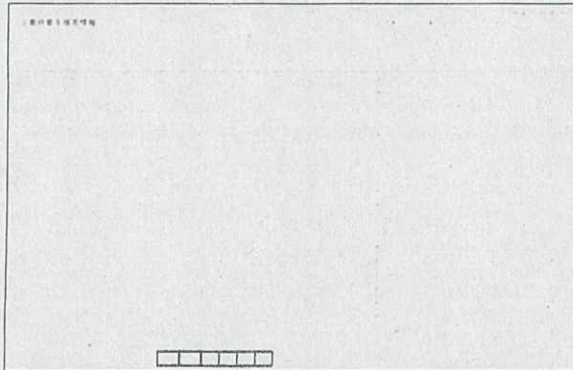


当防災会では、いち早くマニ
ュアルを作成して活動を行ったの
で、近隣の防災会などに活動の
参考として配布している

③ まとめる(2)

・防災マップの作成

・要支援者情報の把握と情報の一元管理



避難行動要支援者の氏名、住所、年齢、疾病内容等を記載

住民台帳のデータから支援を必要とする人の情報を抽出し防災マップ及び要支援者リストの作成を行っている



防災会専用パソコン (PW保護)



要支援者の住戸を地図上に色分けし迅速に支援を行う

これらの情報は、個人情報であり法的に守秘義務を負う民生児童委員が一元的に管理し、災害時以外には開示しない(個人情報保護)

① 通報訓練、初期消火訓練

～より身近な訓練を～

・防災会主体の訓練

(第1段階) [H23～H25]

消防署員の指導を受け、防災会が中心となり全戸を対象として水消火器を使った消火訓練を始めた



消防署員の指導も受けて通報や消火の訓練を行った



・自治会との協働による訓練

(第2段階) [H26～H27]

防災会と自治会が協力し女性消防団員の指導も受け班(10～20戸)毎に消火訓練を行うようになった



女性消防団員の指導で水消火器を使った訓練を行った



・コモン毎に実施する訓練

(第3段階) [H28～]

コモンスペース(5～6戸)毎に自主的に住民が集まり、水消火器を使って訓練を行うようにした



住民が主体となって水消火器を使った訓練を行った



② 安否確認訓練

(住民台帳の情報を使って効率よく安否を確認できる)

- 全住民の安否確認 [居住者リストを使って実施する]



自治会幹事が全戸を訪問し、
住民情報を基に安否の確認を行う



災害対策本部で自治会幹事から安否確認の
報告を受け、被害の全容を把握する



- 要支援者の安否確認 [防災マップと要支援者リストを使って実施する]



民生委員と地域福祉委員が要支援者宅を
戸別に廻り安否の確認を行う



災害対策本部ではトランシーバを使い
要支援者の安否確認の連絡を受ける



③ 避難訓練

- 避難所への誘導 (避難ルートの確認)

指定避難所の小学校
への避難を想定して
集団での避難訓練を
何度も行っており、
車いすを使った避難
も検証している



- 要支援者の誘導



要支援者をリヤカーや担架で運ぶ訓練も行い、雨天での訓練も実施している

④ 炊き出し訓練

- ・非常食の炊飯訓練及び試食会の実施



日赤が衛生上の観点から推奨する「ハイゼックス炊飯袋」による非常食（ご飯）を作ってみた
色んな具を入れても美味しくできる



- ・地域サロンとの協働



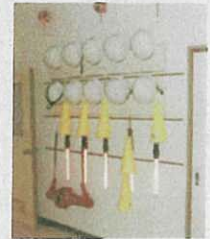
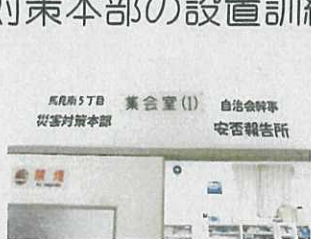
炊きあがったご飯にふりかけを
掛けると意外に美味しい
(試食会にて)



『ふれあい喫茶』でシェイクアウト
訓練や非常食試食会も開催している

⑤ 防災設営訓練

- ・対策本部の設置訓練



災害発生後、直ちに集会所に災害対策本部を設置し、各班毎に活動できる体制を整える

- ・テントの設営訓練



従来のパイプテント



簡単に張れるテント



収納もコンパクト

集会所横の児童公園内にテントを張って、一時避難や炊き出しの活動を行えるようにする

⑥ 救急救命訓練

・救命講習会の実施

H23年から集会所で「普通救命講習Ⅰ」を実施している
(3時間コース)



消防署員の他、地元の女性消防団員も指導に参加するようになった



毎年、自治会幹事などを対象に実施し現在までに約120名が受講済みである



・AEDの設置



以前から要望していたAEDが集会所の入り口前に設置された
広陵町が順次設置している

⑦ 総合防災訓練

・地震発生から一時避難までの総合的な訓練 (H23年度から毎年実施)

地震発生・安全確認
シェイクアウト訓練



避難誘導訓練



炊き出し訓練

実施要領により訓練



安全確認訓練



テント設営訓練



非常食試食会

2014年度

全戸配布

～馬見南5丁目防災訓練 実施のご案内(案)～

- 本年も、秋の自主防災訓練(避難4地区)を実施します
全戸の皆様のご参加とご支援をお願いします。
- 実施日時・・・11月16日(日) 8時～10時(雨天決行)
- 自治会幹事が、安全確認に色戸を回りますので、ご協力をお願いします。

各戸に「防災訓練です。全戸無事ですか?」と聞く→返答をメモ(無事/不明/不在等)
・インターネットの状況が不明の場合は、事前に自治会の本部へお問い合わせください。

- ◆ 大場健走・・・MR、義理マラソンの大場健走を想定して防災訓練を実施する。
- ◆ 訓練対象・・・自主防災会と自治会幹事だけでなく、全戸の皆様もご参加ください。
居住戸ごとの訓練(避難、自主防災会と防災会・民生委員の避難訓練、
防災倉庫の避難訓練)を実施する。
- ◆ 訓練内容・・・1. 安全確認訓練 2. 集合場所の避難誘導訓練
3. 非常食の試食 4. 非常食の試食訓練 5. 非常食の試食訓練
- ◆ 実施要領・・・下記の通り

時刻	各住戸での訓練	自治会幹事の訓練	防災会・民生委員の訓練
8時	1. 自身の安全確認 2. 全体の安全確認		★ 7:45-8:00の間 山崎町内の巡回を行う (広域地区で7:45-8:00の間)
8時15分	3. 避難の誘導 4. 避難訓練	★ 当日は自治会幹事は 防災倉庫に待機する 事前に避難場所を確認	
8時30分	5. 避難誘導訓練 6. 避難誘導訓練	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食
8時45分	7. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食
9時45分	8. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食
9時50分	9. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食
10時	10. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食	1. 安全確認訓練 2. 集合場所での訓練 3. 非常食の試食

⑧ 地域防災訓練(1)

・中学校区の地域防災訓練
(平成27年度実施) [初めての広域訓練]



安否確認訓練



一時避難訓練



避難開始



避難訓練



避難所到着 (小学校)



図上訓練 (幾中央大学)

全戸配付

～平成27年度広陵町地域防災訓練のご案内～

- 真美ヶ丘地区全体で初めて実施する防災訓練に見学も、自ら参加します
全戸の防災家の戸別配布をお願いします
- 実施日時・・・7月26日(日)午前9時～(雨天も実施)
- 訓練の概要：自治会、第一防災会による全戸の安否確認と一時避難訓練(地区毎指定避難所(真美ヶ丘)への避難訓練及び防災イベント参加(地区全体))
- 参加希望・・・下の通り

- ◆ 訓練予定・・・午前9時に避難場所内で訓練の人員が集合し、広域では真美ヶ丘を総動員して実施します
- ◆ 訓練対象・・・全戸の参加をお願いします
- ◆ 訓練内容・・・(1) 安否確認訓練(シヤークラウド)訓練
(2) 安否確認訓練(自治会による戸別訪問)
(3) 一時避難場所(集会所等)への避難訓練
- ◆ 実施要領・・・下の通り

経過時間	訓練内容
8:58	訓練開始(区役所、防災無線放送、第一小学校のスピーカ)
9:00	大地震発生!! 緊急が警急待(防災無線放送、第一小学校のスピーカ、一時避難所(真美ヶ丘)の放送) (1) 安否確認(シヤークラウド)訓練(「安全確認」のボタンを押す) ※安否確認は、安否の安全、火元の確認を行う
9:05	(2) 自治会ブロック毎の安否確認(戸別訪問)及び 世帯の安否(人数)を調査して下さい 【調査向：おにんぎょうがいます、全員参加です!】 災害対策協議会の対応は、委員が可能な範囲で対応します
9:10 ～9:30	(3) 安否確認後、避難所(第一小学校)へ一時避難して下さい ※避難所(第一小学校)は、避難所として指定されていますので、 一時避難場所(避難所)へ避難して、おんぎょうと一緒に避難してください!
9:35	集会所に置いてある「避難者リスト」に名前を書いて下さい (見覚え)のみの一時避難場所は集会所及び指定の避難所です
9:40	防災課の防災担当職員が、避難訓練に参加し、戸別 訪問(見覚え)して「避難者リスト」を回収します
9:45	訓練終了(雨天の場合は雨天対応)です

※、雨天の時は、自治会幹事や第一防災会員が小学校までの「避難者リスト」を行います
また、自治会委員が防災会員を誘導して行われる「世帯別」訓練に参加します

⑧ 地域防災訓練(2)

・小学校区の地域防災訓練
(平成28年度実施) [防災フェア併催]



安否確認訓練



避難者登録



避難開始



避難訓練 (機材運搬共)



防災フェアに参加 (車いす補助具使用体験)



平成28年4月28日
毎月6日(日)と毎月10日(日)

～平成28年度広陵町地域防災訓練(案)～

- 今年度は真美ヶ丘第一小学校区全体で初めて実施する防災訓練です
大人も子どもも参加する多くの住民の参加をお願いします
- 実施日時・・・6月4日(日)午前9時～(雨天も実施)
- 訓練の概要：自治会、第一防災会による全戸の安否確認と一時避難訓練(地区毎指定避難所(真美ヶ丘)への避難訓練及び防災イベント参加(地区全体))
- 参加希望・・・下の通り

- ◆ 訓練予定・・・午前9時に避難場所内で訓練の人員が集合し、広域では真美ヶ丘を総動員して実施します
- ◆ 訓練対象・・・地区内の全戸(第一防災会4丁目、おんぎょう)が対象です
- ◆ 訓練内容・・・(1) 安否確認訓練(シヤークラウド)訓練
(2) 安否確認訓練(自治会又は第一防災会による戸別訪問)
(3) 一時避難場所(集会所等)への避難訓練
(4) 指定避難所への避難訓練(小学校グラウンドでの避難)
(5) 小学校体育館での防災イベント参加(スタッフフリー形式)
- ◆ 実施要領・・・下の通り

経過時間	訓練内容
8:58	訓練開始(区役所、防災無線放送、第一小学校のスピーカ)
9:00	大地震発生!! を想定 緊急が警急待(防災無線放送、第一小学校のスピーカから放送) (1) 安否確認(シヤークラウド)訓練(「安全確認」のボタンを押す) ※安否確認は、安否の安全、火元の確認を行う
9:05	(2) 自治会、第一防災会による「全世帯の安否確認」を行う 災害対策協議会の対応は、委員が可能な範囲で対応します
9:45	(3) 安否確認後、避難所(第一小学校)へ一時避難して下さい 1日間の安否状況を把握(集会所の対応本部にて安否確認の集計)
9:45 ～10:00	大規模火災が発生!! を想定 (4) 5) 日からの指定避難所(真美ヶ丘)へ避難(避難所本部にて避難 者リスト(避難者リスト)に名前を書いてから避難
10:00 ～10:30	真美ヶ丘に集会所で避難(避難ルート確認、ホイッスルでの避難訓練) 5) 日からの指定避難所(真美ヶ丘)へ避難(避難所本部にて避難 者リスト)を回収し避難者数を把握、行状を報告
10:30 ～12:00	(5) 体育館での防災イベント参加(スタッフフリー形式) 5) 日からの指定避難所(真美ヶ丘)へ避難(避難所本部にて避難 者リスト)を回収し避難者数を把握、行状を報告

② 備蓄品の整備・管理(1)

・防災備蓄品の整備 (主な機材)

・防災倉庫の設置

集会所前に設置の防災倉庫はH23年に広陵町から支給された物である



防災倉庫の内部はきれいに整理され、いざという時に取り出し易くしている



倉庫内部

・資機材の定期点検



発電機やチェーンソー、投光器などを定期的に点検し、災害発生時に備えている



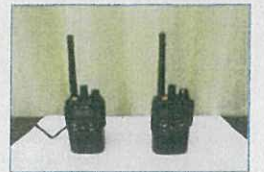
発電機と投光器



チェーンソー



トランシーバ (簡易)



無線機 (登録済)



備蓄雑用水タンク



車いすと補助具

② 備蓄品の整備・管理(2)

馬見南5丁目自主防災会 主な備蓄品一覧表

名 称	収納場所	数量	名 称	収納場所	数量
無線機 (無線局登録)	集会室	2	テント (折りたたみ式)	防災倉庫	1
トランシーバ (小電力)	集会室	12	リヤカー (折りたたみ式)	防災倉庫	1
ジャケット	集会室	40	チェーンソー	防災倉庫	1
ライトラジオ	集会室	5	ジャッキ	防災倉庫	2
強力ライト	集会室	5	救助セット	防災倉庫	2
救急セット	集会室	1	担架	防災倉庫	2
専用パソコン	集会室	1	ヘルメット	防災倉庫	20
専用プリンタ	集会室	1	シャベル (丸)	防災倉庫	5
ヘルメット	玄関ホール	10	組み立て式トイレ	防災倉庫	3
メガホン	玄関ホール	7	トイレテント	防災倉庫	1
ハンドマイク	玄関ホール	3	折り畳み式水入れ (大)	防災倉庫	10
シグナルライト	玄関ホール	5	折り畳み式水入れ (小)	防災倉庫	10
車イス (折りたたみ式)	防災倉庫	2	トラロープ	防災倉庫	1
車イス補助具	防災倉庫	2	クレモナロープ	防災倉庫	2
発電機	防災倉庫	1	訓練用水消火器	防災倉庫	3
投光器	防災倉庫	3	消火訓練用的	防災倉庫	1
投光器用三脚	防災倉庫	1	災害用毛布	防災倉庫	36
コードリール	防災倉庫	1	備蓄飲料水 (2L)	防災倉庫	30
筒先、スタンドパイプ	防災倉庫	1	備蓄雑用水 (20L)	集会所北側	10

③ 防災設備の点検

・消火栓の点検



地域内に設置されている防火設備は防災訓練やその他のイベント時に巡回して点検を実施しており、筒先の盗難や水槽の水位低下などをいち早く発見している

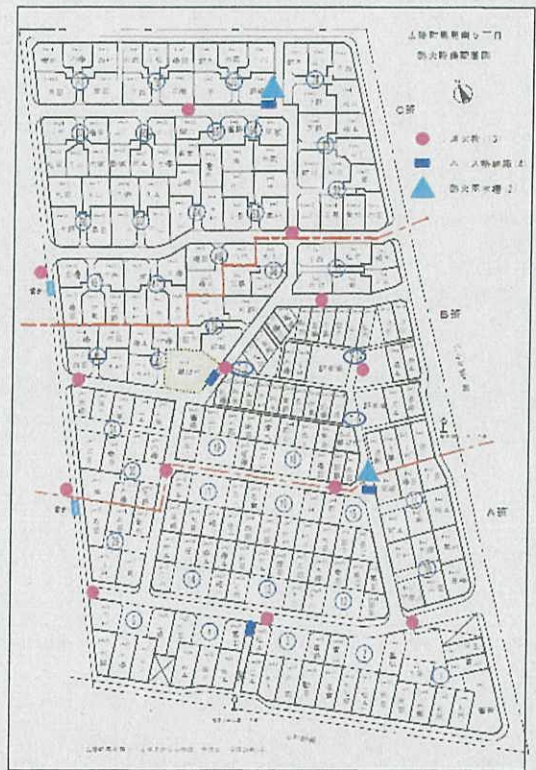
・ホース格納箱の点検



・防火水槽の点検



・防火設備位置図 (H24年作成)



23

④ 地域団体との協働

・チャレンジデーへの参加

(自治会と協働/H27年から毎年参加)

全国で毎年5月最終水曜日に行われるスポーツイベントで、広陵町はH27年から参加している

防災会も防災設備巡回ツアーを企画し点検を兼ねた運動で参加している



防災設備巡回ツアーで消火栓、防火水槽、ホース格納庫などを点検しながら地域内を一巡



・ふれあい祭りへの協力

(H26年度から協力)

自治会主催の夏祭りに防災会も参加協力を行っている



テント設営協力



的あてゲームを実施



防災グッズの展示

・町民体育祭への参加

自治会の一員として防災競技種目に参加している

『レスキュー60』に出場



・年末防犯・防火

パトロールの実施

自治会や子ども会と一緒に地域内の「火の用心(夜回り)」を実施した

24

今後の課題と展望



① 課題

・防災会員の増員

毎年、活動内容は充実したものとなってきているが、更に深化した活動を行うには会員数が不足しているため、募集を行い増員を図る必要がある

・防災活動の日常化

防災活動は特別なことではなく、いつ起こるか分からない大災害に備えるためには日常の生活に自然に取り込まれた形での活動にする必要がある

② 展望

・地域の絆（地域力）の強化

過去の大災害の事例を見ても、隣近所の助け合いで命を救われた例も多く、地域力いわゆる『地域の絆』を強くして、まず命を守ることを心がけなければならない

・自助、共助の定着

発災直後から少なくとも一週間は公的支援が来ないことも想定し、地域の住民が互いに協力して生活できるように「自助」「共助」を定着させなくてはならない

以上、馬見南5丁目自主防災会の活動について、ご紹介致しました。